

いなづま



松前町 松前藩屋敷 浮き紫陽花

撮影：伊東 照勝

ご挨拶

理事長 玉津 眞史

今年もあと三ヶ月余り、九月の記録的な残暑も収まり、秋らしい季節になりました。

五月二十九日の第七十二回通常総会は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を踏まえ、初めての書面総会での開催となりました。組合員一八一名中、書面出席一四二名、本人出席十四名で開催されました。提出議案（一号議案から六号議案）の総てを賛成多数で原案のとおり、可決承認をいただきました。組合員の皆様の協力により、令和元年度の事業運営を円滑に行う事ができました。心より感謝いたします。

スイッチング工事、街路灯保守委託事業等の売り上げは減少しましたが、目標の利益を計上する事ができ、剰余金処分では出資配当、利用分量配当を行う事が出来ました。今後とも組合事業への協力を宜しくお願いいたします。

今年度は恒例となっている、大レクリエーション大会、港まつり「ワッショイ函館」が開催中止になりました。多くの組合員の皆様は参加を楽しみにしていたことと思います。残念な気持ちでいっぱいです。新型コロナウイルス感染症の一日も早い収束と次年度の開催を心より願っています。

日毎、寒さも厳しくなります。組合員の皆様におかれましては、健康に充分留意され、常に基本を念頭におき、無事故、無災害で仕事に従事して頂きたいと思えます。ここ数年第三者損害賠償保険の賠償額が増える傾向にあります。些細なミスの積み重ねが、大きな事故につながります。始業前、終業時の確認をお願いします。

役員会だより

第一回役員会

二・五・十二

一、経過報告

顧問・元理事長函館拓北電業(株)会長吉田要様病氣見舞い

顧問・元理事長函館拓北電業(株)会長吉田要様逝去

二、貸付報告・無し

三、各支部報告並びに提案事項

各支部それぞれ支部会議を開催

四、総務委員会事項

(1) 組合員の異動

(2) 定期健康診断の実施結果について

(3) 令和二年度(第七十二回)通常総会について

(4) 道工組令和二年度総代会について

(5) 第三回役員会及び北工連絡会の開催について

(6) 事務局職員の賞与の支給について

(7) 事務局長の選任について

五、事業委員会事項

(1) 電設業務研修会(内線工事会社研修会)の開催結果について

※「新型コロナウイルス感染症」感染防止のため中止

(2) 二級引込線工事士認定講習・認定試験の開催結果について

※「新型コロナウイルス感染症」感染防止のため延期

(3) イルミネーション撤去工事並びに決算報告について

(4) 第二種電気工事士試験(学科)準備講習会について

※「新型コロナウイルス感染症」感染防止のため中止

(5) 二級引込線工事士安全技能講習(無墜落昇降柱法訓練)の実施について

※「新型コロナウイルス感染症」感染防止のため延期

13日 道工業組合期末監査(書面監査)

12日 第一回役員会

5月11日 組合期末監査

27日 正副理事長・事務局長会議

24日 北海道電力(株)関連工事安全協議会函館配電部会定例協議会(書面開催)

23日 労働保険の年度更新手続(組合会議室)

22日 道工業組合第一回役員会(書面開催)

15日 定期健康診断(組合Ⅱ二四八名受診)

8日 正副理事長・事務局長会議

4月1日 検満業者打合せ会議

13日 道工業組合期末監査(書面監査)

(6) 北電・組合連絡協議会の開催について

※「新型コロナウイルス感染症」感染防止のため中止

(7) 函館工業高校電気科生徒のインターンシップ現場実習の受入について

※「新型コロナウイルス感染症」感染防止のため中止

六、その他

(1) 「フルハーネス型」墜落防止器具の使用についてのアンケート結果について

(2) 道工組親善ゴルフ大会について

二・五・二十九

第二回役員会

一、経過報告・無し

二、貸付報告・無し

三、各支部報告並びに提案事項

各支部それぞれ支部会議を開催

四、総務委員会事項

(1) 令和二年度(第七十二回)通常総会の開催について

五、事業委員会事項

(1) 第二種電気工事士試験(技能)準備講習会の開催について

4月1日 検満業者打合せ会議

8日 正副理事長・事務局長会議

14日 定期健康診断(組合Ⅱ二四八名受診)

15日 道工業組合第一回役員会(書面開催)

22日 労働保険の年度更新手続(組合会議室)

24日 北海道電力(株)関連工事安全協議会函館配電部会定例協議会(書面開催)

23日 労働保険の年度更新手続(組合会議室)

22日 道工業組合第一回役員会(書面開催)

15日 定期健康診断(組合Ⅱ二四八名受診)

8日 正副理事長・事務局長会議

4月1日 検満業者打合せ会議

13日 道工業組合期末監査(書面監査)

12日 第一回役員会

5月11日 組合期末監査

27日 正副理事長・事務局長会議

24日 北海道電力(株)関連工事安全協議会函館配電部会定例協議会(書面開催)

23日 労働保険の年度更新手続(組合会議室)

22日 道工業組合第一回役員会(書面開催)

15日 定期健康診断(組合Ⅱ二四八名受診)

8日 正副理事長・事務局長会議

4月1日 検満業者打合せ会議

13日 道工業組合期末監査(書面監査)

12日 第一回役員会

組合行事

14日 道工業組合第二回役員会(書面開催)

29日 第二回役員会

29日 第七十二回通常総会(書面開催)

6月1日 検満業者打合せ会議

8日 青年部第三十七回通常総会(書面開催)

9日 道工業組合第三回役員会・通常総代会(書面開催)

10日 検満業者打合せ会議

25日 道工業組合臨時役員会(書面開催)

30日 検満業者打合せ会議

7月10日 検満業者打合せ会議

14日 第一種電気工事士定期講習(フォーポイントバイシエラトン函館Ⅱ九十五名)

16日 全道事務局長会議(TV会議)

20日 二級引込線工事士認定講習・認定試験(組合会議室Ⅱ三十一名受講二十二名受験)

29日 電気分野人材育成研究会(組合会議室)

8月3日 検満業者打合せ会議

19日 二級引込線工事士・低圧計測器工事士安全技能講習(組合会議室・北電NW旧資材管理跡地Ⅱ一三二名)

26日 低圧検満工事合同安全パトロール(北電NW二名・組合三名・施工会社五社)

31日 検満業者打合せ会議

9月2日 いなづま編集会議

5日 第一種電気工事士(学科)受験準備講習会(ポリテクセンターⅡ十五名)

11日 正副理事長・事務局長会議

12日 第一種電気工事士(学科)受験準備講習会(ポリテクセンターⅡ十五名)

13日 第一種電気工事士(学科)受験準備講習会(ポリテクセンターⅡ十五名)

25日 道工業組合役員会に玉津理事長・大倉副理事長出席(道電気会館)

全日 北電ネットワーク・道工業組合本部連絡協議会に玉津理事長出席(道電気会館)

26日 第一種電気工事士(学科)受験準備講習会(ポリテクセンターⅡ十五名)

9月2日 いなづま編集会議

5日 第一種電気工事士(学科)受験準備講習会(ポリテクセンターⅡ十五名)

11日 正副理事長・事務局長会議

12日 第一種電気工事士(学科)受験準備講習会(ポリテクセンターⅡ十五名)

13日 第一種電気工事士(学科)受験準備講習会(ポリテクセンターⅡ十五名)

25日 道工業組合役員会に玉津理事長・大倉副理事長出席(道電気会館)

全日 北電ネットワーク・道工業組合本部連絡協議会に玉津理事長出席(道電気会館)

26日 第一種電気工事士(学科)受験準備講習会(ポリテクセンターⅡ十五名)

9月2日 いなづま編集会議

5日 第一種電気工事士(学科)受験準備講習会(ポリテクセンターⅡ十五名)

11日 正副理事長・事務局長会議

12日 第一種電気工事士(学科)受験準備講習会(ポリテクセンターⅡ十五名)

13日 第一種電気工事士(学科)受験準備講習会(ポリテクセンターⅡ十五名)

第七十二回 通常総会開催

令和二年度第七十二回通常総会は新型コロナウイルス感染症の感染拡大が終息する兆しが見えないことから、多くの組合員が一堂に会する形の総会を止め、書面にて議案に対する賛否やご意見を伺う形態で五月二十九日（金）に役員のみ出席し、開催されました。議事の進行については、午後一時三十分開会宣言後、玉津理事長が議長に選出され議案の審議に入りました。

第一号議案

令和元年度事業報告、財産目録、貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分（案）について

第二号議案

令和二年度事業計画（案）並びに収支予算（案）について

第三号議案

令和二年度役員報酬について

第四号議案

令和二年度組合借入金残高の最高限度額の決定について

第五号議案

令二元年度一組合員に対する貸付け（手形の割引を含む。）又は一組合員のためにする債務保証の最高限度額の決定について

第六号議案

北海道電気工事業工業組合総代及び推薦委員の選出について

第一号から第六号議案まで、事務局より内容説明の

後、書面出席一四二名、本人出席十四名の賛成多数により、全ての議案が原案のとおり可決され、午後二時十五分、議長は閉会を宣言し令和二年度通常総会は終了しました。



北電NW配電G・組合 検満計測器取替工事合同 安全パトロール

令和二年八月二十六日に北海道電力ネットワーク株式会社函館支店配電部配電グループと工事組合による低圧検満計測器取替工事合同安全パトロールが実施されました。北電より二名、組合から三名で検満工事会社五社の現場をパトロールしました。

ここ数年は年に一度冬期に行っていた安全パトロー

ルでしたが、今年度は夏と冬の二回実施されることとなり、その第一回目としての安全パトロールが実施されました。今夏は近年稀にみる猛暑の日々で当日もとても暑い中でのパトロールとなり、検満工事会社の皆さまも汗を流しながらの作業となりました。

スマートメーターの取付け・取外し、ハンディターミナルの操作方法もほぼ完璧に習得し、取替作業もとてもスムーズで指摘する項目が無いくらい施工面に関しては良かったと思います。ただ、指差し呼称など確認作業の際に声が出ていない、また、二人作業であるにも関わらず連携が取れていないなど施工面以外の改善点は多くみられたように思えます。

全五ヶ所の安全パトロールを終えて北電ネットワーク配電グループの方からは「総合的にみて良く出来ており、問題なし」との良い評価を頂きましたが、とてもそうではなかったように思いました。検満工事会社の皆さまであれば何が良く何が悪く、どうすれば一番安全に検満計測器取替作業を行えるか言うまでもなく分かっていくことだと思います。施工は丁寧迅速に、そして安全を第一にこれから作業の方をお願い致します。

最後になりますがお忙しい中ご協力頂きました皆さまに厚く御礼申し上げます。



二級引込線工事士 新規認定講習・認定試験 安全技能講習(無墜落昇降法訓練)

例年、二級引込線工事士新規認定講習は、三月中に、また二級引込線工事士・低圧計測器工事士安全技能講習は六月中に開催しておりますが、新型コロナウイルス感染症拡大のため、しばらくの間、開催の延期をしております。

政府による緊急事態宣言の解除を受け、新規認定講習を七月二十日(月)に、安全技能講習を八月十九日(水)に換気や受講者間の距離を保つなど感染予防対策を行い開催しました。

七月二十日に開催した新規認定講習は、試験合格による認定者が二十二名で、受講した全三十一名が新たに認定されました。

八月十九日に開催した安全技能講習では、前述の新規認定者および既認定者を合わせ一三二名が受講し、組合会議室にて座学を、北電ネットワーク旧資材管理跡地にて模擬柱での無墜落昇降柱法訓練を実施しました。

安全技能講習の座学では、スマートメーターに特化した内容となり今年度で四度目となった『計測器練習問題』を実施し、正当率は七十パーセント弱でした。

検測工事に従事している組合員やハウスメー



カーの電気工事に従事している組合員しかスマートメーターを取り付けする機会が無く、スマートメーター工事に携わったことがある組合員が二極化しているのが現状ではないかと思われまます。

組合員の中にはまだ、スマートメーターを取り付けしたことのない方も多数おられるかと思っております。この度受講された皆さまには、この計測器練習問題の内容を社内で伝達していただき、スマートメーターに対する知識の裾野を広げていただければと思います。

七月の認定講習並びに八月の安全技能講習とも、ご多用中にも関わらず、北電ネットワーク配電グループの皆さまに講師を務めていただきました。改めて、誌上を借りて厚く御礼申し上げます。

就任ご挨拶



北海道電力ネットワーク
株式会社
執行役員 函館支店長
金谷 俊 昭

七月一日付で北海道電力ネットワーク函館支店に着任いたしました。

函館は両親の故郷でもあり、幼いころは夏休みなどに、今はなき実家に遊びに来ておりました。市電に乗って駅前のデパートで買い物や食事をしたこと、函館港まつりや花火大会など思い出深い地であります。

また、弊社においては非常に人気の高い町でもあり、歴史と伝統にある函館に勤務することに深く感謝しつつ、函館地方電気工事協同組合の皆さまにご挨拶申し上げます。

着任以降、三ヶ月が過ぎようとしておりますが、週末は市電や自転車に乗っての市内散策を楽しんでおります。

函館山登山による山頂からの絶景、西部地区の名所

旧跡、老舗に混じって雑貨屋さんやカフェなどが新たに出来ており、異国情緒や歴史の中に新しさが混在する素敵な観光地となっております。週末の道南めぐりはまだまだ続くことと思えます。

新鮮な海産物や函館ならではのB級グルメも堪能しており、ウエイトオーバーにならないよう、健康自主管理の必要性を感じるところです。

新型コロナウイルスは、観光都市函館にも甚大な影響を及ぼしており、お客さまとの会話の中でも、売り上げ対前年九十%減といったお話を聞くにつけ、経営へのご苦労は想像を絶するものと憂慮しております。

コロナの早期収束を願うとともに、これからのコロナとの向き合い方について、生活習慣・様式やビジネス環境が大きく変化するなか、感染拡大阻止と経済活動の発展にどのようにお役に立てるか考えるところです。

本年四月、弊社は送配電部門を分割し「北海道電力ネットワーク」を新設し、「北海道電力」は発電、販売を担う会社となりました。一九五一年の創立から約七十年続く事業体制は大きく変わり、今年度は新たな転換の年を迎えました。

函館支店におきましても、「北海道電力ネットワーク」函館支店と「北海道電力」函館支社が同じ建屋内に居を構えております。

複雑でわかりにくい組織となつてしまいました。それぞれの自主性を発揮しつつ、ほくでんグループとして一体となつて道民のみなさまから信頼され、選ばれ愛されるほくでんグループを目指してまいりますので、変わらぬご支援をお願いいたします。

二〇一六年から電力の小売全面自由化が実施され四年が経過しました。北海道においても道内外からさまざまな業態の新電力が参入してきており、新電力のテレビCMが流れることも日常の光景となつてきました。ほくでんグループの販売部門は厳しい競争を余儀なくされておりますが、二〇一九年度はなんと対前年比四%の販売電力量の増加に転じることができました。これはひとえに道民のご支援の賜物と感じております。

ほくでんグループの総力をあげて、北海道の電気需要の拡大を含めた販売活動に取り組んでまいりますので、エアコン、ヒートポンプへの電化機器のご検討などがありましたら、ご一報くだされば幸いです。

また、この十月からガス小売事業をはじめることとなりました。二〇一七年四月から都市ガスの小売全面自由化となっておりますが、石狩市でのLNGによる発電事業に加え、念願のご家庭のお客さまへのガス小売事業となります。

供給エリアは当面は札幌地域限定となりますが、函館市内で都市ガスをご使用されているお客さまにも低廉な「ほくでんガス」をお届けできる日がくることを信じています。

泊発電所の再稼働に向けた状況でございますが、原子力規制委員会の新規制基準への適合性審査に向け、「発電所敷地内断層の活動性評価」などの検討を進めております。この九月にも現地調査を受けたところであり、再稼働に向けて原子力規制委員会のご理解を早期に得られるよう、また、更なる安全性向上として「世界最高水準の安全性」確保を目指し、不断の努力を重ねてまいります。

さらには、一昨年の道民のみなさまに大変なご不便をおかけした北海道全域停電を踏まえたレジリエンス強化や、低炭素化や地域経済の発展にも貢献してまいりますと考えております。

当社はエネルギー供給の担い手として、地域の皆さまから選ばれ愛される総合エネルギー企業を目指しゼンリョクで取り組んでまいります。

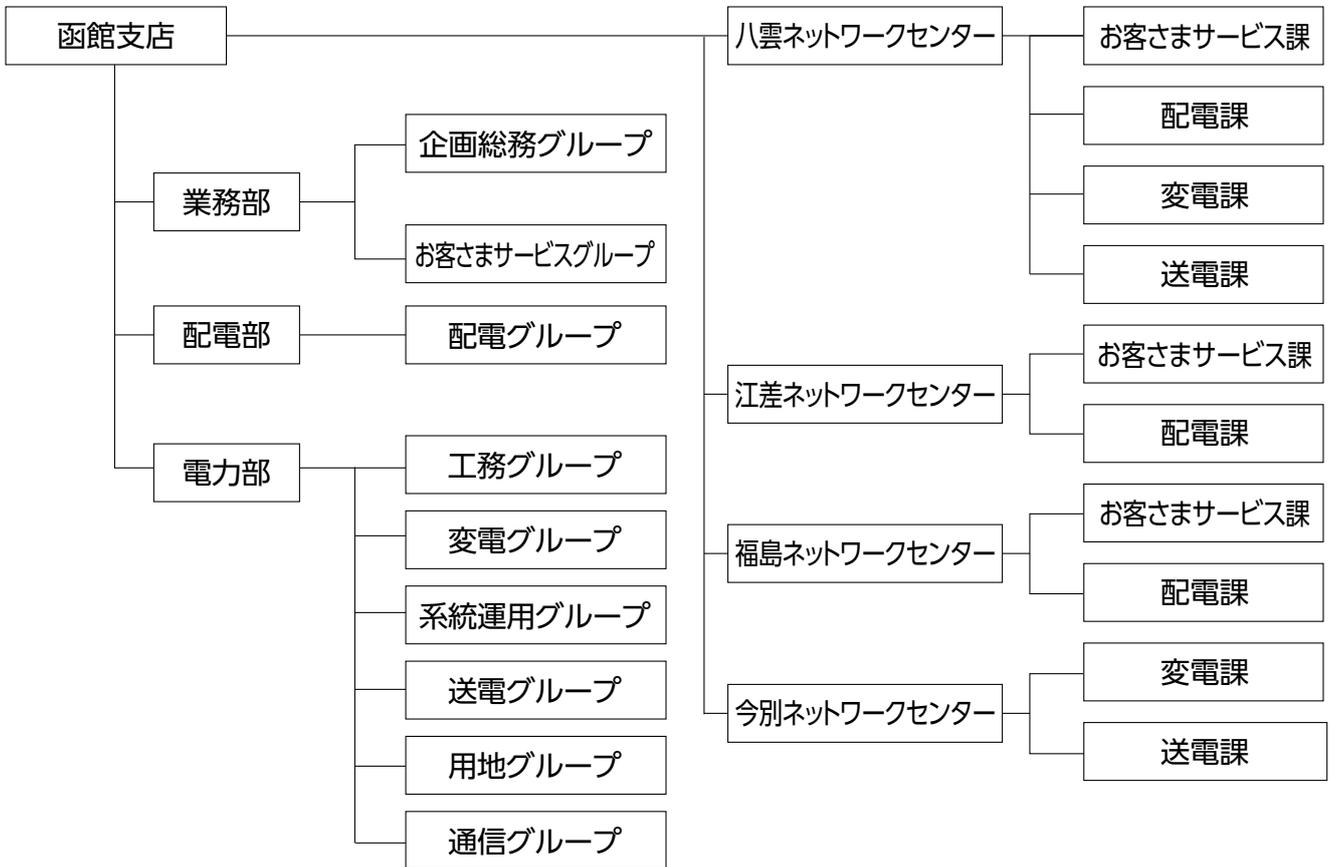
最後になりますが、電力自由化や発送電分離による会社分割など、電力を取り巻く環境は自分たちの予想を超えて変化しております。

しかしながら、電力の安定供給を維持しながら、低廉な電気をお届けすることがほくでんグループの最大の使命であり、地域の皆さまから選ばれ信頼されるほくでんグループを目指して努めていく所存でございますので、函館地方電気工事協同組合の皆さまのご助力を賜れば幸いです。

北海道電力株式会社函館支社組織構成図 (令和2年9月1日現在)



北海道電力ネットワーク株式会社函館支店組織構成図 (令和2年9月1日現在)



追悼記



函館拓北電業株式会社 取締役会長、函館地方電気工事協同組合顧問であります、吉田要氏が感染症対策による国の緊急事態宣言が

発令される最中の去る四月二十日発症中の肺炎にて入院中の病院において九十二年の生涯を終え永遠への旅立ちとなりました。

感染症対策のため家族葬的な小さな葬儀となり、皆さんと一緒に送ることが出来なかつたことは大変心残りではあります。

組合にとりましてはその組合の創成期を知り、そして今日の健全な組合運営組織となるまでに数々お力添えとともに大きな貢献をしていただきましたことについて感謝の念で一杯です。またその慈愛に満ちた言葉の中に優しく薫陶を受けられた組合員も多いと思います。重ねての感謝と御礼そして心よりご冥福をお祈りいたします。

吉田 要氏は昭和三年に函館にて出生、昭和十八年には海軍航空隊に入隊しましたが終戦とともに復員、昭和二十一年に京都市立第一工業高校電氣科を卒業され日露漁業株式会社研究所に勤務その後電氣工事業の自営、昭和三十三年拓北電業株式会社函館出張所長を経て昭和四十二年三月に現在の函館拓北電業株式会社を設立、代表取締役就任しました。

今年の一月に代表を退任するまで五十二年間の長きにわたりその技術力に裏うちされた仕事はおお客様の信頼も厚く着実に業績を伸ばし業界の大手のような函館の電氣工事会社として誰もが知るところです。

吉田 要氏の永年の卓越した経営手腕に対し尊敬の

念で一杯です。

会社は新しい代表者や社員の皆様の力を結集して発展に努力されることを故人も信じて見守っているものと思います。

また六年前に最愛の奥様を亡くされてからは一人住まいになりましたがその生活ぶりは本人の寂寥の気持ちとは別に毅然としたものを感じていました。日常の食事や家事など不自由なことはたくさんあったと思われませんが、服装から靴のはてまでその佇まいは今では少なくなりつつある戦争体験者の生きざまなのかと思います、それは我々に人生の在り方を教えてくれたのかも知れません。

電氣工事関連業界における経歴と功績を述べさせていただきます。昭和四十五年函館地方電気工事協同組合の理事に就任、同五十一年副理事長、平成七年大倉元理事長の後を受け同十六年に退任されるまで九間にわたり組合理事長として業界を牽引しました。

平成元年には組合会館新築工事に大倉元理事長とともに尽力され無事に竣工、現在に至っています。現在組合の大きな事業であります北海道電力との引込線工事に関する運営要領や契約及び引込線工事士認定試験制度などをまとめ上げたことも故人の貢献によるものです。今の組合の基礎を形成したのはまさに故人の力によるところ多大です。そして本機関誌 いなづまが昭和四十三年発行以来こんにちこのように継続していることは故人の膨大な努力のおかげで在ることを、また全国でも単独の組合組織でこれ程長期にわたり定期発行している組合はない事を現在の組合を運営されている方々にも理解していただく事が必要ではないのかと思います。

その他に函館電設業会会長、函館消防設備協会会長、北海道電気工業組合副理事長など多数の公職を歴任、その功績により北海道電気安全委員会委員長表彰、函館市安全都市推進委員会市長表彰、北海道中小企業団体中央会会長表彰、北海道通商産業局局長表彰、通商産業大臣表彰、平成八年には当組合からは

初めてとなる黄綬褒章の受賞など数々の輝かしい実績を積み重ねられました。

これからはお酒の席での軽妙な会話や得意な歌声もきけず寂寥感ひとしおですが教授された数々のことを念頭に運営するならば、今後も組合は益々発展するであらうと確信しています。

永い間お世話になり本当にありがとうございました。そしてお疲れさまでした。

無常の世を辞して恋しき常住不變安樂の故郷に帰る 南無大師遍照金剛 合掌

組合員の異動

◎ 代表者の変更 (新) (旧)

一、函館拓北電業(株) 代表取締役 鈴木 雅博 吉田 要

一、(有)後藤電機商会 代表取締役 渡部 隆介 渡部 洋子

一、邦代電気商会 代表者 手塚 勇起 手塚 正則

一、日函機器(株) 代表取締役 中山 守生 中山 守

◎ 住所変更

一、(株)きくち電工舎

(新) 函館市五稜郭町一―一七

電話番号 〇一三八―三〇一三九三〇

FAX番号 〇一三八―八三―一六七三〇

(旧) 函館市昭和二丁目五―一八

電話番号 〇一三八―四一―一三二一三

FAX番号 〇一三八―三〇―一三九三五

◎ 脱退

一、(株)高橋電工 令和二年四月二日

お悔やみ

令和二年

四月二十日

顧問・函館拓北電業(株)
会長 吉田要殿ご逝去

八月八日

(株)平松電気工務所 代表者
ご母堂 大谷ハルエ殿ご逝去

■今月の表紙について

『松前藩屋敷 浮き紫陽花』

松前藩屋敷は、「松前の五月は江戸にもない」と言われるほど繁栄した江戸時代の松前の城下町を再現し、武家屋敷、商家、旅籠、廻船問屋など計十四棟の建物が立ち並び、甲冑や着物の着付けが体験できるなど、北海道唯一の城下町、松前町のテーマパークです。松前町は北海道でただ一つの城下町ということをご存知のことと思いますが、その成り立ちには中世にさかのぼります。十四世紀、津軽地方を平定していた安藤氏が鎌倉幕府より蝦夷管領として蝦夷地の管理を任されており、現在の松前町神明(地名)に役所を置いていたと推定されています。

十五世紀に入り、アイヌの青年と和人のいざこざをきっかけにして起こったアイヌ首長コシャマインの蜂起によりアイヌと和人との間で大きな戦争が起こります。コシャマインを現在の北斗市七重浜付近で討つた松前家の祖である武田信広がその功績により、武名を高めることとなり、松前家の蝦夷地での発展の基礎となりました。その後、信広は蠣崎姓を名乗り、その五世慶広の代の時代、知略に長けた慶広は一五九三年に関白豊臣秀吉に面会し、蝦夷地支配の朱印状を与えられ、蠣崎氏は姓を松前と改め、蝦夷地の領主として安藤氏から独立しました。その後、一六〇四年に徳川家康から蝦夷地の領地権、交易の独占権を得る黒印状が与えられたことにより、松前藩が成立・誕生し、松前慶広は初代藩主となりました。

第十二代藩主松前崇広の時代、外国船の出没の備え津軽海峡の警備強化を図るため、幕府から築城を命ぜられ、五年をかけて福山館の修築を重ね、一八五四年に松前城を築城しました。当時は新しい城を建設することが全国的に禁止されていたため、松前城の築城は異例なことでした。松前城は日本式建築による最後の城となり、一九四一年に国宝に指定されますが、一九四九年に松前町役場から出火した飛び火により焼失、全国からの善意によって一九六一年に再建され、現在の城内は藩政時代の資料や絵画などが展示されています。

藩政の歴史に戻りますと、築城後、箱館戦争を経て、一八七一年(明治四年)の廃藩置県が起こるまで松前藩は存在し、初代藩主松前慶広からかぞえて第十四代松前修広が最後の藩主となりました。

松前町では、例年四月下旬から五月にかけて開催されている『桜まつり』には多くの観光客が訪れることで知られていますが、知られざるイベントとして例年七月には松前公園の二〇〇〇株の紫陽花が公園内を埋め尽くす、『あじさいまつり』を開催しています。『あじさいまつり』では、前述の武田信広を祀った神社である松前神社の境内で、北海道無形民俗文化財に指定されている松前神楽を堪能しながらビアガーデンを楽しむこともできます。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、『あじさいまつり』は中止となりましたが、その代わりに、七月二十三日から八月五日までの間、藩屋敷内の池に約二〇〇〇株の紫陽花を敷き詰めた『浮き紫陽花』は美しいとSNSでも話題だったようで、伊東理事が松前町へ観光に出かけた際に撮影した写真を今号の表紙の写真として採用させていただきました。

編集後記

「昨今、私が最も心に突き刺さったCMといえば『やっちゃえニッサン!!』」

キムタクが主演の日産自動車のCMです。『平坦な

道なんてなかった。何度もつまづき、転びかけた。でも諦めなかつたら?逃げなかつたら?そして何より車を愛してきただろう...」

このフレーズに先ずは我が身を置き過去を振り返りました。我々の電気工事業界も同じ境遇を経験してきたのではないかと。バブル崩壊やリーマンショック、東日本大震災を始めとする自然災害など、突如、目の前の道がボコボコになり、何度も厳しい状況を経験してきましたが、何とか今こうやって継続することが出来ています。なぜならば、我々も電気工事という職業を誇りに思い、今や無くてはならないインフラを支えているという強い使命感をもってやってきたからこそ、今があるのではないのでしょうか。

そしてフレーズは後半へと続く:「上等じゃねえか逆境なんて。待っても来ない夜明けなら、こっちら迎えに行こうぜ。」これは、逆境の時代だからこそ、凄いものをつくってやろう!今こそ見返してやろう!あつと驚かしてやろう!そんな『ものづくり』にかける日産の社員の皆さんの声だとの事。

このコロナ禍で自動車需要が落ち込み、各社苦戦を強いられている中で、今年は魅力ある商品(新型車)を次々発表する予定の日産自動車。

一人の日産ファンとして、力強く、そして楽しみでもありますが、我々もこのコロナ禍で経済が冷え込む中、日産自動車社員の皆さんと同じ気持ちで、積極的に提案を行い、凄いな!と言われるような快適な電気設備を提供して行かねばならないと思います。

電気工事業界に身を置く私達も、苦しい時代だからこそ知恵を出し、疲弊している世の中を「やっちゃえ!」と声を出して一致団結し、格好よく走り続けて行きたいものです。

(T・T)

題字 小寺寛一(第二代理事長)

発行所 函館地方電気工事協同組合

編集 総務委員会

住所 函館市日乃出町7番22号

印刷所 龍文堂印刷株式会社

あしたの光で「ごこちよい」を創ります。

東芝ライテック株式会社

北海道営業部函館営業所

〒040-0001 函館市五稜郭町一十四 五稜郭114ビル三階
TEL 五一一六〇〇二
FAX 五一一六〇〇二四



パナソニック株式会社

北海道電材営業所
函館電材出張所

〒041-0808 函館市桔梗二丁目三四一六
TEL(〇一三八)四七一六三三三
FAX(〇一三八)四七一六三六六



人とあかりの調和を考える

大光電機株式会社

函館事務所

札幌支店 〒064-0804 札幌市中央区南四条西一丁目二
TEL(〇一)五六一一八〇六七
FAX(〇一)五五一一九七〇九
函館事務所 〒042-0943 函館市乃木町二丁目パレシヤル九七二階
TEL(〇一三八)八四一六四五〇
FAX(〇一三八)八四一六七八五



河村電器産業株式会社

北海道支店函館営業所

〒040-0011 函館市本町六一五 富士火災函館ビル三階
TEL(〇一三八)三三三二七四三六
FAX(〇一三八)三三三二七四三七
北海道支店 〒003-0006 札幌市白石区東札幌六条一丁目一三〇
TEL(〇一)八二二一五三一
FAX(〇一)八二二一〇五〇四



石垣電材株式会社

本社 〒060-0006 札幌市中央区北六条西一丁目一 番地
TEL(〇一)二一〇一五二二二 番
函館支店 〒041-0824 函館市西桔梗町五八九番地三二一 番
TEL(〇一三八)四九一六二一一 番
八雲営業所 〒049-3104 北海道八雲町内浦町二三四一 番
TEL(〇一三七)六三三三二六九 番

未来環境を語る・造る

エミヤエアロパートナーズ株式会社

函館営業所

〒041-0824 函館市西桔梗町五八九一四九
TEL 四八一五七五一(代表)
本社 札幌・営業所 釧路、苫小牧、小樽



情報社会をパフォーマンスする

田中商事株式会社

函館営業所

〒040-0072 函館市亀田町一三番八号
TEL 四〇一〇八〇〇
本社・東京 営業所・札幌、札幌東、釧路

電設資材総合卸

新光照明株式会社

〒040-0024 函館市高盛町七番一 号
TEL(〇一三八)五五一一〇六三 号
FAX(〇一三八)五五一一〇六三 号
〒007-0812 札幌市東区東苗穂十二条三丁目十九番八号
TEL(〇一)七九〇一一二五三三 号
FAX(〇一)七九〇一一二五三三 号